

# 大阪府工業指数2022年2月【速報】

## 毎月の生産・出荷・在庫の推移

### 1 概況

#### (1) 生産指数…88.4 前月比▲5.7% 2か月ぶりの低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など8業種が低下し、輸送機械工業、生産用機械工業など6業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、アーク溶接機等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲8.3%と3か月連続の低下となった。

#### (2) 出荷指数…92.0 前月比▲0.5% 3か月連続の低下(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など12業種が低下し、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業の2業種が上昇した。

品目別にみると、医薬品、軽油等が低下した。

また、前年同月比(原指数)は、▲5.8%と3か月連続の低下となった。

#### (3) 在庫指数…99.3 前月比2.4% 2か月ぶりの上昇(季節調整済指数)

業種別にみると、化学工業、電気・情報通信機械工業など10業種が上昇し、その他工業、石油・石炭製品工業など3業種が低下した。

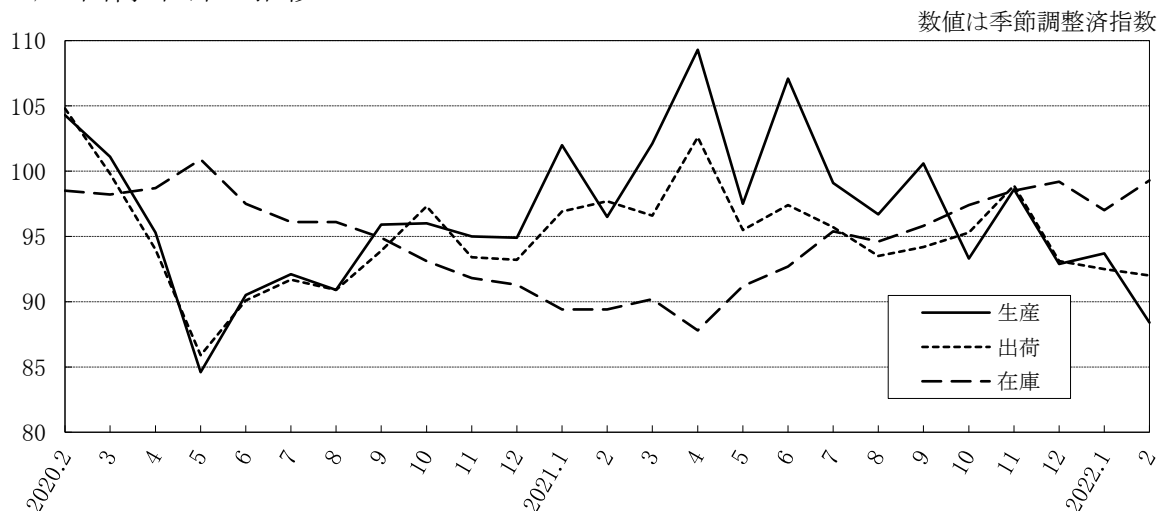
品目別にみると、飲料用アルミニウム缶、LED器具(除. 自動車用)等が上昇した。

また、前年同月比(原指数)は、11.1%と6か月連続の上昇となった。

2015年=100

区 分		季節調整済指数		原 指 数	
			前月比(%)		前年同月比(%)
生 産	2022年1月	93.7	0.9	85.7	▲8.1
	2022年2月	88.4	▲5.7	89.1	▲8.3
出 荷	2022年1月	92.5	▲0.6	84.8	▲4.6
	2022年2月	92.0	▲0.5	89.7	▲5.8
在 庫	2022年1月	97.0	▲2.2	97.4	8.5
	2022年2月	99.3	2.4	99.3	11.1

### 生産・出荷・在庫の推移



## 2 業種分類別・品目別動向(寄与度順)

(1)生産

前月比

▲ 5.7%

上昇 6業種  
低下 8業種  
横ばい 0業種

計 14業種

区分	業種分類	寄与度	前月比(%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	1.548	24.8	小型乗用車、鉄道車両
	生産用機械工業	0.792	6.5	プレス用金型、フラットパネル・ディスプレイ製造装置
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.378	5.3	銅荒引線、亜鉛めっき鋼板
	プラスチック製品工業	0.065	1.5	プラスチック製機械器具部品、プラスチック製パイプ
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.045	2.9	段ボール原紙
	その他工業	0.008	0.1	平版印刷(オフセット印刷)、工業用ゴム製品
	その他の上昇した品目			チョコレート【食料品工業】 汎用内燃機関【汎用・業務用機械工業】
低下	化学工業	▲4.723	▲22.1	医薬品、アンモニア
	電気・情報通信機械工業	▲0.782	▲7.6	アーク溶接機、セパレート形エアコン(室外)
	電子部品・デバイス工業	▲0.299	▲14.8	アクティブ型液晶パネル
	食料品工業	▲0.254	▲2.8	菓子パン、ウイスキー
	金属製品工業	▲0.126	▲1.6	産業用アルミニウム製品、作業工具
	窯業・土石製品工業	▲0.064	▲2.6	無アルカリガラス基板、生コンクリート
	石油・石炭製品工業	▲0.017	▲1.3	重油、ジェット燃料油
	汎用・業務用機械工業	▲0.015	▲0.2	一般用バルブ・コック、チリングユニット
	その他の低下した品目			界面活性剤【化学工業】、冷凍調理食品【食料品工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

寄与度上位10品目

区分	順位	品目	業種分類
上昇	1	小型乗用車	輸送機械工業
	2	鉄道車両	輸送機械工業
	3	チョコレート	食料品工業
	4	汎用内燃機関	汎用・業務用機械工業
	5	飲料用アルミニウム缶	金属製品工業
	6	シャシー・車体部品	輸送機械工業
	7	銅荒引線	鉄鋼・非鉄金属工業
	8	試験機	汎用・業務用機械工業
	9	亜鉛めっき鋼板	鉄鋼・非鉄金属工業
	10	プラスチック製機械器具部品	プラスチック製品工業
低下	1	医薬品	化学工業
	2	アーク溶接機	電気・情報通信機械工業
	3	アクティブ型液晶パネル	電子部品・デバイス工業
	4	セパレート形エアコン(室外)	電気・情報通信機械工業
	5	アンモニア	化学工業
	6	菓子パン	食料品工業
	7	一般用バルブ・コック	汎用・業務用機械工業
	8	産業用アルミニウム製品	金属製品工業
	9	界面活性剤	化学工業
	10	ウイスキー	食料品工業

## (2) 出荷

前月比

▲ 0.5%

上昇 2 業種  
 低下 12 業種  
 横ばい 0 業種

計 14 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	輸送機械工業	2.632	27.4	小型乗用車、鉄道車両
	電子部品・デバイス工業	0.046	8.6	電子回路基板
	その他の上昇した品目			鉄道車両部品【輸送機械工業】 標準変圧器【電気・情報通信機械工業】
低下	化学工業	▲2.401	▲17.6	医薬品、化粧品
	電気・情報通信機械工業	▲0.473	▲6.8	アーク溶接機、セパレート形エアコン(室外)
	石油・石炭製品工業	▲0.464	▲5.5	軽油、ジェット燃料油
	汎用・業務用機械工業	▲0.464	▲5.5	一般用バルブ・コック、ポンプ
	食料品工業	▲0.432	▲5.0	菓子パン、チョコレート
	鉄鋼・非鉄金属工業	▲0.290	▲2.3	普通鋼H形鋼、銅荒引線
	その他工業	▲0.190	▲3.3	マーキングペン、金属製家具
	金属製品工業	▲0.143	▲1.7	飲料用アルミニウム缶、架線金物
	生産用機械工業	▲0.080	▲0.7	装輪式トラクタ、ショベル系掘削機械
	窯業・土石製品工業	▲0.048	▲2.6	生コンクリート、無アルカリガラス基板
	パルプ・紙・紙加工品工業	▲0.025	▲1.6	段ボール原紙
	プラスチック製品工業	▲0.023	▲0.5	プラスチック製建材、プラスチック製容器(中空成形)
	その他の低下した品目			超硬工具【生産用機械工業】 アンモニア【化学工業】

注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

## (3) 在庫

前月比

2.4%

上昇 10 業種  
 低下 3 業種  
 横ばい 0 業種

計 13 業種

区分	業種分類	寄与度	前月比 (%)	主な品目
上昇	化学工業	0.726	4.7	アンモニア、柔軟仕上げ剤
	電気・情報通信機械工業	0.698	4.5	LED器具(除、自動車用)、乾電池
	鉄鋼・非鉄金属工業	0.274	1.1	銅荒引線、特殊鋼冷間仕上鋼材
	金属製品工業	0.272	2.7	飲料用アルミニウム缶、ガスこんろ
	生産用機械工業	0.257	13.0	ショベル系掘削機械
	汎用・業務用機械工業	0.233	2.2	ポンプ、分析機器
	輸送機械工業	0.218	10.7	小型乗用車
	食料品工業	0.097	2.3	ハム・ソーセージ
	窯業・土石製品工業	0.089	6.8	安全ガラス、板ガラス
	パルプ・紙・紙加工品工業	0.041	2.4	段ボール原紙
その他の上昇した品目			蛍光灯【電気・情報通信機械工業】 軽油【石油・石炭製品工業】	
低下	その他工業	▲0.096	▲1.5	医療・衛生用ゴム製品、繊維板・パーティクルボード
	石油・石炭製品工業	▲0.026	▲0.8	重油、ジェット燃料油
	プラスチック製品工業	▲0.008	▲0.2	プラスチック製フィルム・シート、プラスチック製継手
その他の低下した品目			普通鋼H形鋼【鉄鋼・非鉄金属工業】 鉄鋼切断品【鉄鋼・非鉄金属工業】	

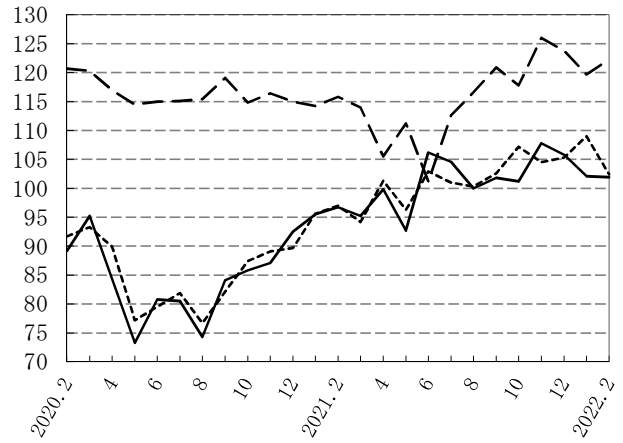
注:業種分類、品目は寄与度順で掲載

### 3 業種分類別の推移

数値は季節調整済指数  
2015年=100

生産 ————  
出荷 .....  
在庫 - - - - -

汎用・業務用機械工業



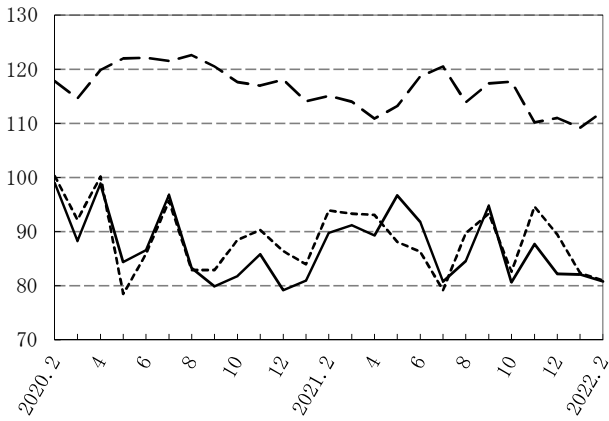
鉄鋼・非鉄金属工業



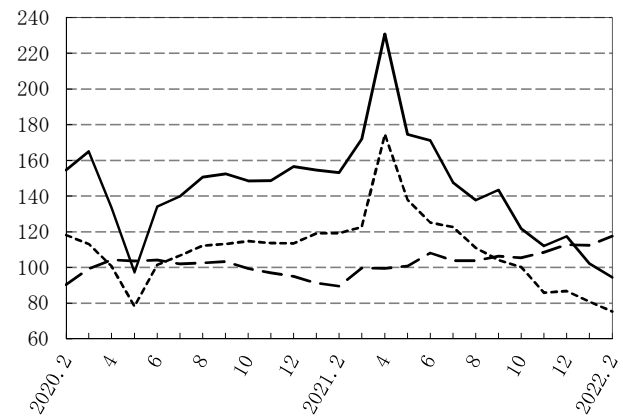
電子部品・デバイス工業



金属製品工業



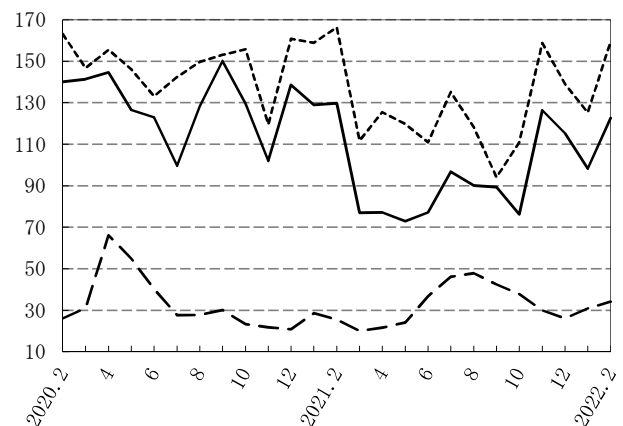
電気・情報通信機械工業



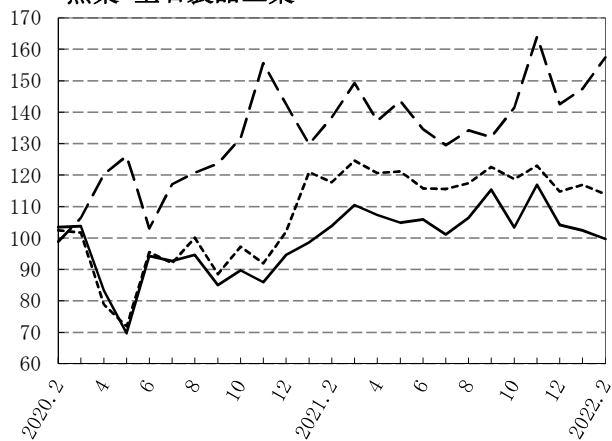
生産用機械工業



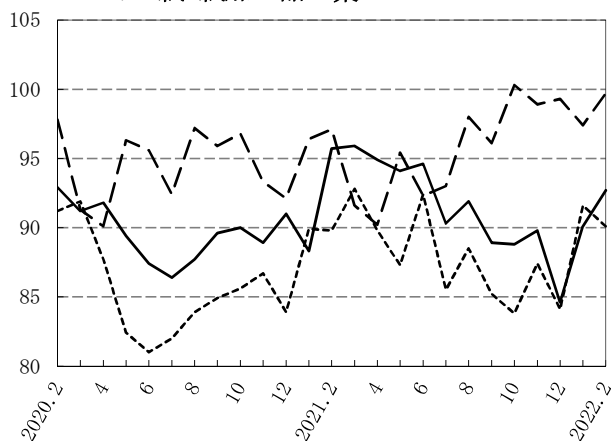
輸送機械工業



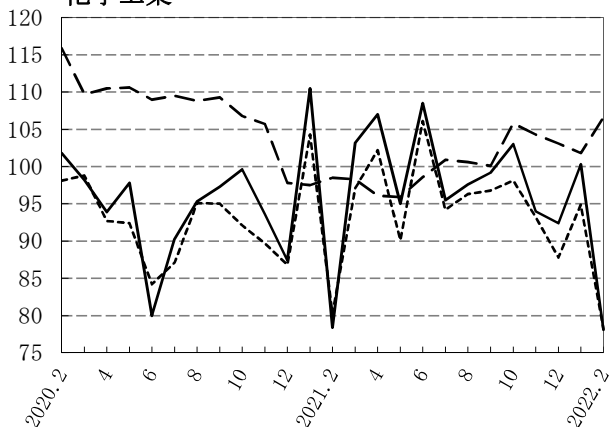
窯業・土石製品工業



パルプ・紙・紙加工品工業



化学工業



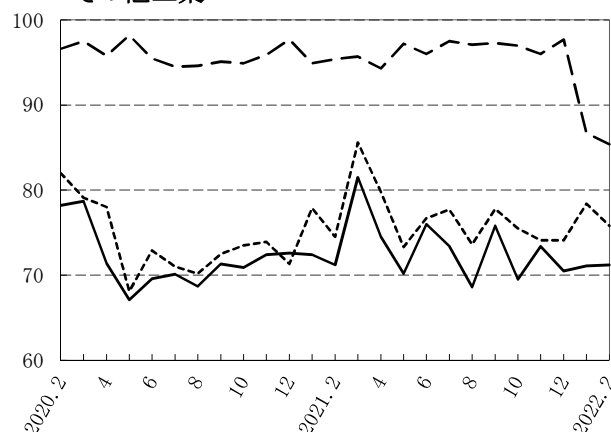
食料品工業



石油・石炭製品工業



その他工業



プラスチック製品工業



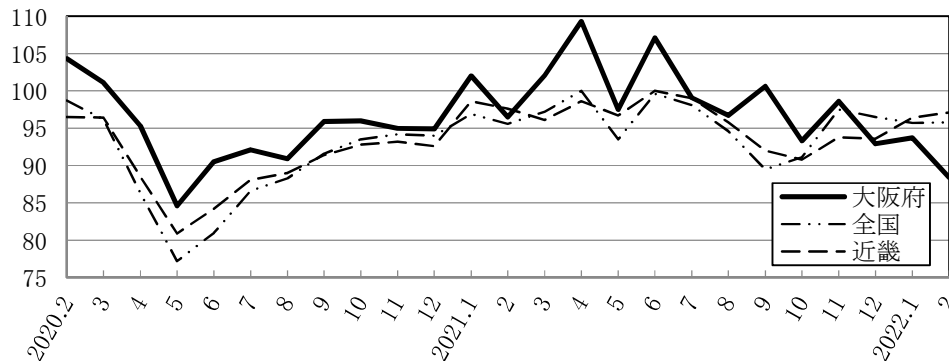
## 4 全国・近畿の状況(速報)

2015年=100

	大阪府		全国		近畿	
	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)	季節調整済指数	前月比(%)
生産	88.4	▲ 5.7	96.6	2.4	97.1	0.7
出荷	92.0	▲ 0.5	93.0	0.3	95.3	▲ 2.3
在庫	99.3	2.4	101.4	2.2	106.2	1.9

注:「全国」は経済産業省、「近畿」は近畿経済産業局が、それぞれ公表したもの

生産指数の推移



### 1 基準年

基準時及びウェイト算定年は、2015年(平成27年)です。

2015年(平成27年)基準の指数値は、平成31年1月速報(2019年3月29日公表)から公表しています。

### 2 数値・符号

(1)掲載している指数値は、当月は速報値、前月は確報値です。

(2)本文中及び統計表等で用いる符号については、次のとおりです。

「▲」…… 負数であることを示す。

### 3 季節調整

原指数には季節変動(操業日数や決算時期による生産増減、気候や社会風習(中元、歳暮など)による需給変動など1年間でほぼ規則的に繰り返される動き)が含まれており、原指数から季節変動分を除去したものを季節調整済指数といいます。

前年同月比や年単位の動向をみる場合には原指数、前月比や足下の動向をみる場合には季節調整済指数を利用します。

### 4 寄与度

ある業種(品目)の増減が業種(品目)トータルでの生産指数、出荷指数、在庫指数の伸び率を何ポイント押し上げ(押し下げ)ているかを示す数値です。

$$\text{寄与度} = \frac{\text{今月のA業種(品目)の指数} - \text{前月のA業種(品目)の指数}}{\text{前月の業種(品目)トータルの指数}} \times \frac{\text{A業種(品目)のウェイト}}{\text{業種(品目)トータルのウェイト}} \times 100$$

※経済産業省生産動態統計調査など指数値の計算に利用するデータについて、2020年の実数値が補正されたため、同年の指数値を補正しました(年間補正)。2021年11月速報(2022年1月31日公表)から補正後の指数値を用いています。年間補正は毎年実施しますので、2021年1月以降の指数値も今後変わることがあります。

▼詳細な統計データや工業指数については、大阪府ホームページをご覧ください。  
大阪府ホームページ「大阪府工業指数」 <http://www.pref.osaka.lg.jp/toukei/iip/>

▼本資料についての問合せは下記へお願いします。  
大阪府総務部統計課 情報企画グループ 工業指数担当 TEL:06(6210)9195(直通)